

令和3年度12月開校 介護過程Ⅲ・医療的ケア 授業構成

日数	日別授業構成 (教育に含むべき内容)		講習時間 0 時限 30 分	時間別授業構成					
				(到達目標)	授業概要				
1 日目 4月2日	介護過程の展開の実際	多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用し分析力・応用力を評価する	1	50	【到達目標】知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なモニタリングができる	介護過程Ⅰの復習			
2 日目 4月9日			2	50		介護過程Ⅱの復習			
			3	50		関係する資料から利用者情報を読み解く			
3 日目 4月10日			介護技術の評価	介護技術の原理原則を習得・実践とともに、知識・技術を総合的に活用し判断力・応用力を評価する		4	50	ケアプラン(1表～5表)の読み取り方	事例を基にケアプランから利用者情報を読み解く
						5	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	インテーク・アセスメントの方法
6						50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	アセスメント情報から利用者像を把握するグループワーク	
4 日目 4月17日						7	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	フェイスシート・アセスメントシートの作成
	8	50			知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	介護計画書・手順書の作成	介護現場でのボディメカニクス		
5 日目 4月24日	介護技術の評価	介護技術の原理原則を習得・実践とともに、知識・技術を総合的に活用し判断力・応用力を評価する			9	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	ボディメカニクスの原理・原則	
					10	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	介護現場でのボディメカニクス	
11			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	寝具の整え方(シーツの整え方)				
6 日目 5月8日			介護過程の展開の実際	多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用し分析力・応用力を評価する	12	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	体位・体位変換(床上での水平・上方移動含む)	
					13	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	移乗の介助(一般的な移乗介助)	
14					50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	移乗の介助(体格差のある場合)(スライディングボード含む)		
7 日目 5月15日					介護技術の評価	多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用し分析力・応用力を評価する	15	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる
	16	50					知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	排泄の介助(ポータブルトイレ)	
17	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる					排泄の介助(差し込み便器・尿器)		
8 日目 5月21日	演習	喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)					18	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる
			19	50			知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	移動の介助(歩行介助・杖歩行介助)	
20			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる			移動の介助(車いす介助)		
9 日目 5月22日			演習	喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)			21	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる
					22	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	着脱の介助(臥位)	
23					50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	食事の介助(椅座位・端座位・半座位)		
10 日目 5月28日					演習	喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)	24	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる
	25	50					知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	食事の介助(臥位)	
26	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる					口腔清潔の介助		
11 日目 5月29日	演習	経管栄養(基礎的知識・実施手順)					27	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる
			28	50			知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	入浴・清潔の介助(足浴・腕部清拭)	
29			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる			清潔の介助(全身清拭)		
11 日目 5月29日			演習	医療的ケアの基礎知識			30	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる
					31	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	介護現場でのヒヤリハット、事故と対応	
32					50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	ヒヤリハット報告書の作成		
11 日目 5月29日					演習	医療的ケアの基礎知識	33	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる
	34	50					知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	4ヶ月後の事例・ケアプラン5表から経過を観察する視点(グループワーク)、モニタリング報告書を作成する	
35	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる					目標の達成度、利用者の満足度等についてロールプレイ		
36	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる					再計画の目標設定(今後の新たな課題)		
37	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	知識等の習得度の評価(試験)						
38	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	「起居→排泄」の介助、評価(例)	介護技術の評価					
39	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	「臥位→入浴(清拭)」(例)						
40	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	「起居→通所施設への送り出し」の介助、評価(例)						
41	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	「椅座位→口腔ケア」の介助、評価(例)						
42	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	「椅座位→食事」の介助、評価(例)						
43	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	「椅座位→就寝」の介助、評価(例)						
44	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	「おむつ交換→バイタルチェック」の介助、評価(例)						
11 日目 5月29日	演習	医療的ケアの基礎知識	45	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	口腔内の喀痰吸引(通常手順)	医療的ケアの評価		
			46	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	口腔内の喀痰吸引(通常手順)			
47			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	口腔内の喀痰吸引(通常手順)				
48			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	口腔内の喀痰吸引(通常手順)				
49			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	口腔内の喀痰吸引(レスピレーター装着者)				
50			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	口腔内の喀痰吸引(レスピレーター装着者)				
51			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)				
11 日目 5月29日	演習	医療的ケアの基礎知識	52	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)	医療的ケアの評価		
			53	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)			
54			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	鼻腔内の喀痰吸引(通常手順)				
55			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	鼻腔内の喀痰吸引(レスピレーター装着者)				
56			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	鼻腔内の喀痰吸引(レスピレーター装着者)				
57			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	気管カニューレ内部の喀痰吸引(通常手順)				
58			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	気管カニューレ内部の喀痰吸引(通常手順)				
11 日目 5月29日	演習	医療的ケアの基礎知識	59	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	気管カニューレ内部の喀痰吸引(レスピレーター装着者)	医療的ケアの評価		
			60	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	気管カニューレ内部の喀痰吸引(レスピレーター装着者)			
61			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	経管栄養【胃ろう・腸ろう】(滴下)				
62			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	経管栄養【胃ろう・腸ろう】(滴下)				
63			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	経管栄養【胃ろう・腸ろう】(滴下)				
64			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	経管栄養【胃ろう・腸ろう】(半固形)				
65			50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	経管栄養【胃ろう・腸ろう】(半固形)				
66	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	経管栄養【経鼻経管栄養】						
67	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	経管栄養【経鼻経管栄養】						
68	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	経管栄養【経鼻経管栄養】						
69	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	救急蘇生法						
70	50	知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的なアセスメントができる	救急蘇生法						